

連絡先：自動車局 審査・リコール課 リコール監理室
 TEL：03-5253-8111 内線42354
 アドレス： <http://www.mlit.go.jp>

改善対策届出一覧表

改善対策届出日：平成28年10月12日

| | | | |
|--------------------------------|--|---------|-------------|
| 改善対策届出番号 | 511 | 改善対策開始日 | 平成28年10月13日 |
| 届出者の氏名又は名称 | ヤマハ発動機株式会社 代表取締役社長 柳 弘之 問い合わせ先：お客様相談室 0120-090-819 | | |
| 不具合の部位（部品名） | 原動機（点火コイル） | | |
| 不具合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因 | 原動機において、点火コイルの電気配線の配索設計が不適切なため、電気配線がホルダとメインハーネスのクランプの間に挟まることがある。また、点火コイルの端子の製造が不適切なため、端子の強度が不足しているものがある。そのため、低温時に電気配線の被覆が硬化した際に、車両の走行振動で電気配線が振れると点火コイルの端子に繰り返し応力が加わり亀裂が発生し、最悪の場合、点火コイル端子が折損して走行中にエンジンが停止し、走行不能となるおそれがある。 | | |
| 改善対策の内容 | 全車両、点火コイルを良品と交換するとともに、電気配線の配索を点検し、ホルダとメインハーネスのクランプの隙間に電気配線が挟まっているもの若くは隙間が小さいものは、配索を修正する。 | | |
| 不具合件数 | 37件 | 事故の有無 | なし |
| 発見の動機 | 市場からの情報による。 | | |
| 自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置 | <ul style="list-style-type: none"> ・使用者：ダイレクトメールで通知する。 ・自動車分解整備事業者：日整連発行の機関誌に掲載する。 ・改善実施済車には、その旨を点検整備記録簿に記載する。 | | |

| 車名 | 型式 | 通称名 | 改善対策対象車の車台番号(シリアル番号)の範囲及び製作期間 | 改善対策対象車の台数 | 備考 |
|-----|-----------|-------------|--|------------|----|
| ヤマハ | JBH-SA36J | 「ジヨク」CE50 | SA36J-779053～SA36J-802978 平成25年1月25日～平成25年9月30日 | 23,690台 | |
| | JBH-SA39J | 「ジヨク」CE50D | SA39J-812227～SA39J-821552 平成25年1月25日～平成25年9月24日 | 3,808台 | |
| | | 「ジヨク」CE50ZR | SA39J-812277～SA39J-821452 平成25年1月25日～平成25年9月23日 | 5,152台 | |
| | (計2型式) | (計3車種) | (製作期間の全体の範囲) 平成25年1月25日～平成25年9月30日 | (計32,650台) | |

【注意事項】

改善対策対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれている場合があります。